

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川県立伊勢原射撃場		
所在地	伊勢原市上粕屋2380番地		
サイトURL	http://www.isehara-shooting.jp/		
根拠条例	神奈川県立伊勢原射撃場条例		
設置目的(設置時期)	県民に射撃に関する知識の習得及び技術の向上の場を提供し、もって県民のスポーツの振興に寄与するため(平成9年5月)		
指定管理者名	一般社団法人神奈川県射撃協会		
指定期間	H30.4.1～R5.3.31 (2018年) (2023年)	施設所管課 (事務所)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>射撃教習及び技能講習の実施などを通じて、概ね事業計画書の内容どおりの取組を実施している。利用状況の評価がS評価、利用者の満足度の評価がS評価、収支状況の評価がB評価となったことから、令和元年度の3項目評価についてはA評価とした。収支状況の評価がB評価となった理由として、施設の経年劣化による修繕への対応によるものであり、それらが結果として利用者数の増加や利用者の満足度に繋がっていることは評価できる。今後は、事業計画に掲げた取組を継続するとともに、クレー射撃の選手育成拠点として、その強みを最大限活かした事業展開を図ることにより、引き続き、利用者の安全管理の徹底と将来の射撃競技人口の裾野の拡大に資するような施設の管理運営を通じて、更なる利用拡大とサービスの向上に努めてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 射撃教室の開催、射撃教習並びに技能講習及び自主事業である月例会の実施を通じて、概ね事業計画の内容どおりの取組を実施した。中でも施設の安全管理については、利用者に対する適切な指導やサポートを徹底することにより、利用者が安全、安心かつ快適に利用できる環境整備に注力するなど、事故のない施設運営に真摯に取り組んでいる。◆利用状況 団体利用者の予約を早期に受け付ける等利用者サービスの向上に努めた結果、利用者数が目標達成率121.8%となり、S評価となった。射撃教習受講者数・技能講習受講者数は、堅調に推移している。◆利用者の満足度 利用者の意見を業務に反映した結果、9月及び3月に実施したアンケート調査では、上位2段階の回答割合が97.4%となったためS評価となった。◆収支状況 利用促進により前年度より収入増となった。一方、施設が老朽化しており、施設や設備を修繕するための支出が増加し、収支差額がマイナスとなり、収支比率が91.6%となりB評価となった。一方でこれまで、施設の老朽化に対して、利用者から意見が寄せられていたが、指定管理者による施設整備の結果、利用者満足度が上がっており、評価できる。◆苦情・要望等 主に施設の老朽化に関する指定管理者に起因しない要望が寄せられたが、施設や設備の修繕を施すなど、適切な対応に努めた。◆事故・不祥事等 職員による日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。◆その他 なし	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	令和元年6月13日、 令和元年10月24日、 令和2年2月4日	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設内の改修含む維持管理については、射撃場利用者の直接的サービス低下につながらないよう県と連携しながら優先して取り組む。	業務基準に基づき、施設機能の十分な発揮、利用者アンケートの指摘事項の改善、日常の保守管理・清掃等を実施した。	
新たな射撃競技者の開拓、射撃競技者の育成、射撃競技に対する一般県民への普及啓発活動に取り組む。特に若年層の競技人口の拡大・育成に取り組む。	日本クレ射撃協会の強化拠点の指定を受け、競技会や強化練習等を実施するとともに、ビームライフル体験会を開催し若年層の発掘や女性シューターの増大に取り組んだ。	
射撃場の責務として、単に射撃競技の場として利用させるだけではなく、利用者の射撃技能の向上、安全対策、安全意識の啓蒙に努める。	射撃指導員の資格を有する職員による巡回を実施したほか、大会等には安全指導員を配置し、事故防止、安全確保に努めた。 施設に起因する利用者の事故は0件であった。	
地域人材の活用、地域との協力体制の構築及びボランティア団体等の育成・連携に取り組む。	職員採用は近隣市町村在住者を中心に雇用を行った。宿泊を伴う合宿・大会の際には、大山旅館組合の協力を受け、安価な料金で宿泊できるようにする等、地域活性化の取組を実施した。	

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
ライフル射場S Bライフル月例会	参加人数を増やしており、銃砲所持者の競技力向上と安全普及に繋げた。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
S	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	23,466	23,941	24,362
対前年度比		102.0%	101.8%
目標値	20,000	20,000	20,000
目標達成率	117.3%	119.7%	121.8%

目標値の設定根拠： 指定管理者収支計画書に基づき設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用料金から算出

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年2回、9月と3月に調査	協定に定めた年間2回、9月と翌年3月に実施した。設備の改善や、従業員の日々の清掃等が利用者からの高評価という結果に出ていると思われる。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 _____ 該当する印象にチェックを付けてください（トータルの満足度）。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 475 / 665 = 71.4%

配布(サンプル)対象 _____ 施設の利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	231	228	9	3	471	
回答率	49.0%	48.4%	1.9%	0.6%		
前年度の回答数	362	41	6	1	410	
前年度回答率	88.3%	10.0%	1.5%	0.2%		
回答率の 対前年度比	55.5%	484.1%	130.6%	261.1%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	0	67,063	37,978	クレーション、 標的等(ライル)、 技能講習・射撃 教習	105,041	105,041	0	
	決算	0	69,097	22,946	クレーション、 標的等(ライル)、 技能講習・射撃 教習	92,043	91,057	986	101.08%
前年度	当初予算	0	57,373	35,859	クレーション、 標的等(ライル)、 技能講習・射撃 教習	93,232	93,232	0	
	決算	0	95,309	18,091	クレーション、 標的等(ライル)、 技能講習・射撃 教習	113,400	107,722	5,678	105.27%
令和元年度	当初予算	0	59,197	35,840	クレーション、 標的等(ライル)、 技能講習・射撃 教習	95,037	95,037	0	
	決算	0	70,929	43,292	クレーション、 標的等(ライル)、 技能講習・射撃 教習	114,221	124,688	-10,467	91.61%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 3,872 前年度 / 1,991 前々年度 / 4,408

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。